

2027年 3月期

第 1 四半期決算説明資料

2026年 8 月

株式会社アルマード

27年3月期 業績予想

1. 27年3月期の通期業績は、**増収増益**の着地見通し

- いずれの部門も通期で前年実績を上回る見通し
- 配当予想は未定とするが、今後の成長投資等とのバランスを踏まえて予想可能となった時点で公表予定
- 今後は利益成長に重点をおき、持続的かつ中長期的な成長を目指す

1Q業績

2. 1Qはいずれの部門も前年実績を上回り、全体で**増収増益**の着地

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら順調に拡大、外部モール販売も伸長
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCの大型番組がいずれも成功し売上予算を超過

27年3月期 業績予想

1. 27年3月期の通期業績は、**増収増益**の着地見通し

- いずれの部門も通期で前年実績を上回る見通し
- 配当予想は未定とするが、今後の成長投資等とのバランスを踏まえて予想可能となった時点で公表予定
- 今後は利益成長に重点をおき、持続的かつ中長期的な成長を目指す

1Q業績

2. 1Qはいずれの部門も前年実績を上回り、全体で**増収増益**の着地

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら順調に拡大、外部モール販売も伸長
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCの大型番組がいずれも成功し売上予算を超過

- 27年3月期は売上、利益とも前年を上回り**増収増益の着地見通し**

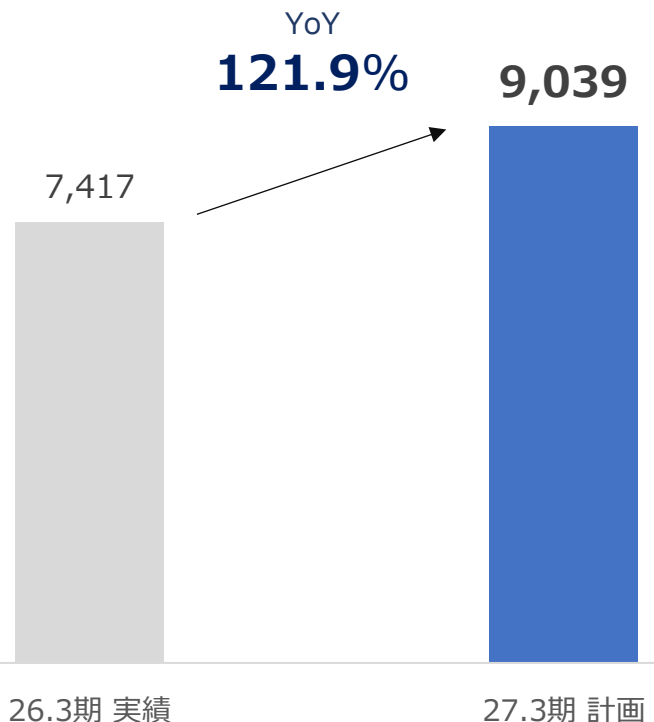
(単位:百万円)			
項目	26年3月期 実績	27年3月期 計画	前期比
売上高	10,118	12,500	123.5%
直販 売上	7,417	9,039	121.9%
外販 売上 *	1,761	2,510	142.6%
TV通販 売上	939	949	101.1%
営業利益	685	800	116.7%
経常利益	689	780	113.1%
当期純利益 (税引後)	518	540	104.2%
(単位:円)			
EPS	56.1	58.2	103.8%

*外販売上：海外の売上高を含む

- 直販部門は**前期比121.9%の増収見込み**、中期的な利益改善のための仕込みを今年度より開始する

売上高（直販）

（単位：百万円）



年間計画の概要

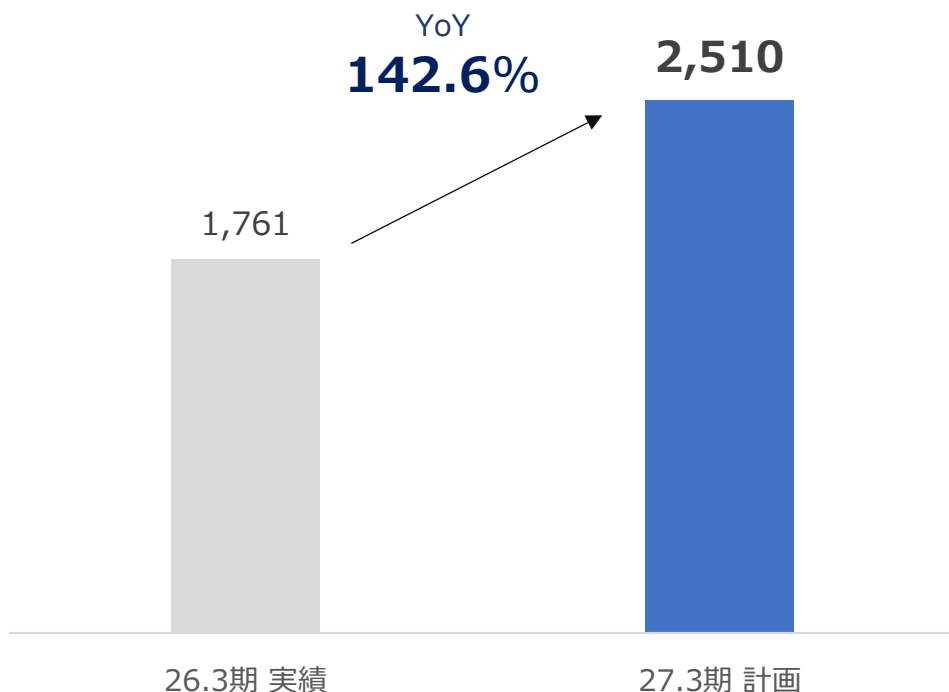
- 短期利益を重視した上期偏重の顧客獲得から脱却し、中長期的な利益最大化を見据え、事業環境に応じた柔軟かつ機動的な獲得スタイルへ転換
- 年間の新規獲得数は前期比115%以上を計画
- 年度末の定期会員数は前期比130%以上を見込む
- CPA*の抑制とLTVの更なる向上を図り、利益体質の強化を加速させる

*CPA：一人当たり顧客獲得費用

- 外販部門は**前期比142.6%の増収見込み**、一般流通事業の飛躍的な成長を目指す

売上高（外販）*

（単位：百万円）



年間計画の概要

【一般流通事業】

- 売上高 1,435 百万円（前期比165.7%）
- 店内デジタルサイネージCMを含む販促活動を強化
- 店頭販売実績を積上げ、配荷店舗数の維持拡大を目指す

【OEM事業】

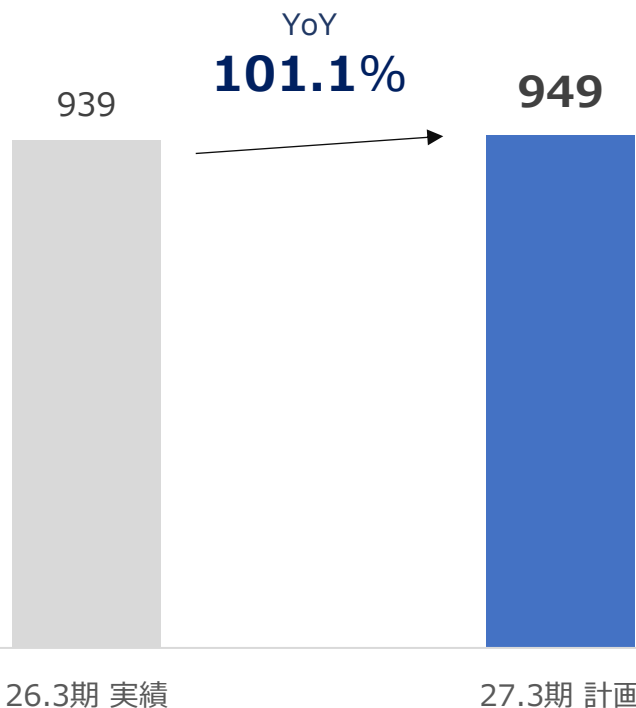
- 売上高 1,075 百万円（前期比120.2%）
- 主要OEM先からの受注が緩やかに回復する見通し

* 売上高（外販）：海外の売上高を含む

- TV通販部門は**前期比101.1%の増収見込み**、V字回復を目指し、新タレントの起用や新販路の活用を計画

売上高 (TV通販)

(単位：百万円)

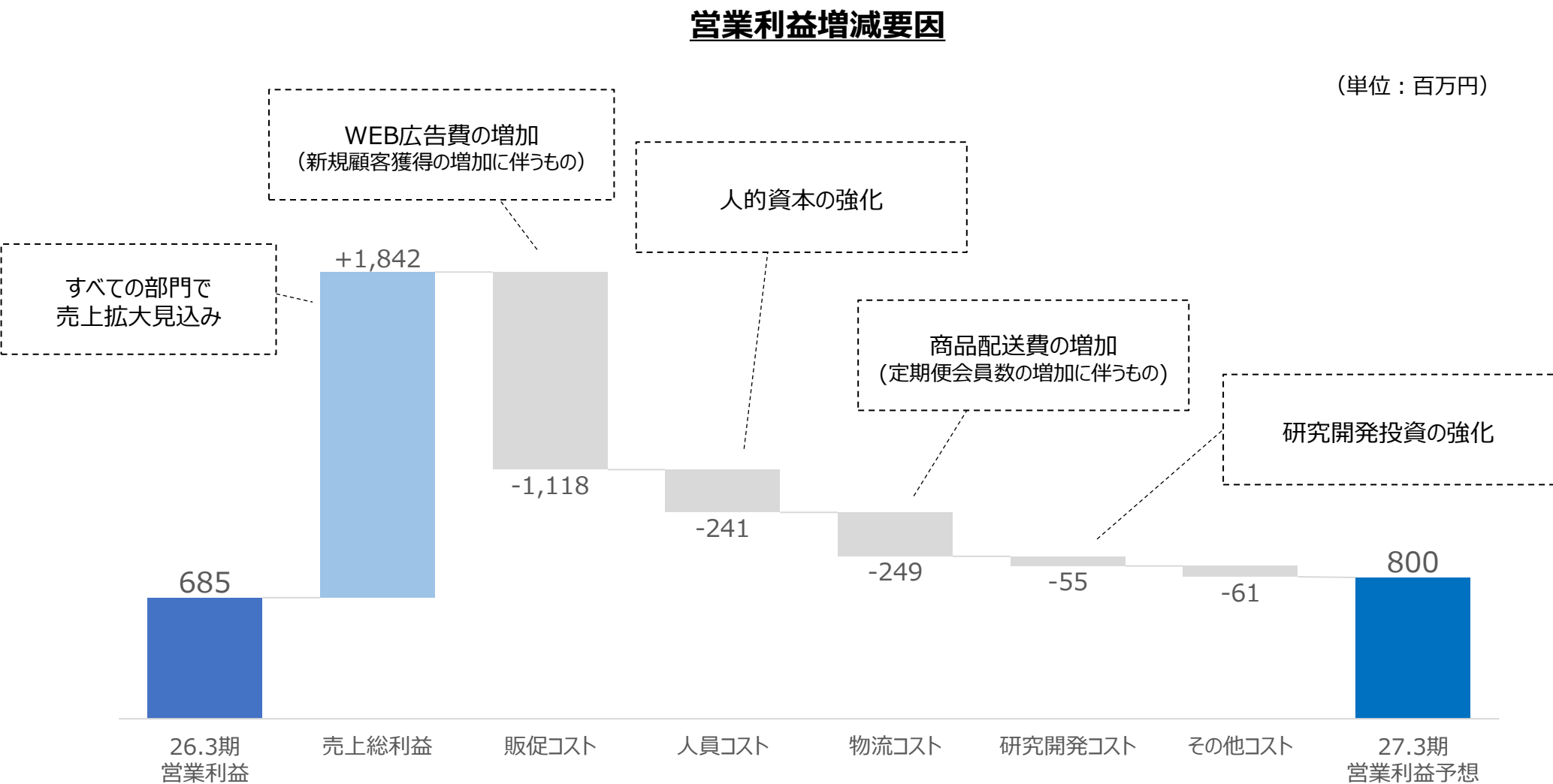


年間計画の概要

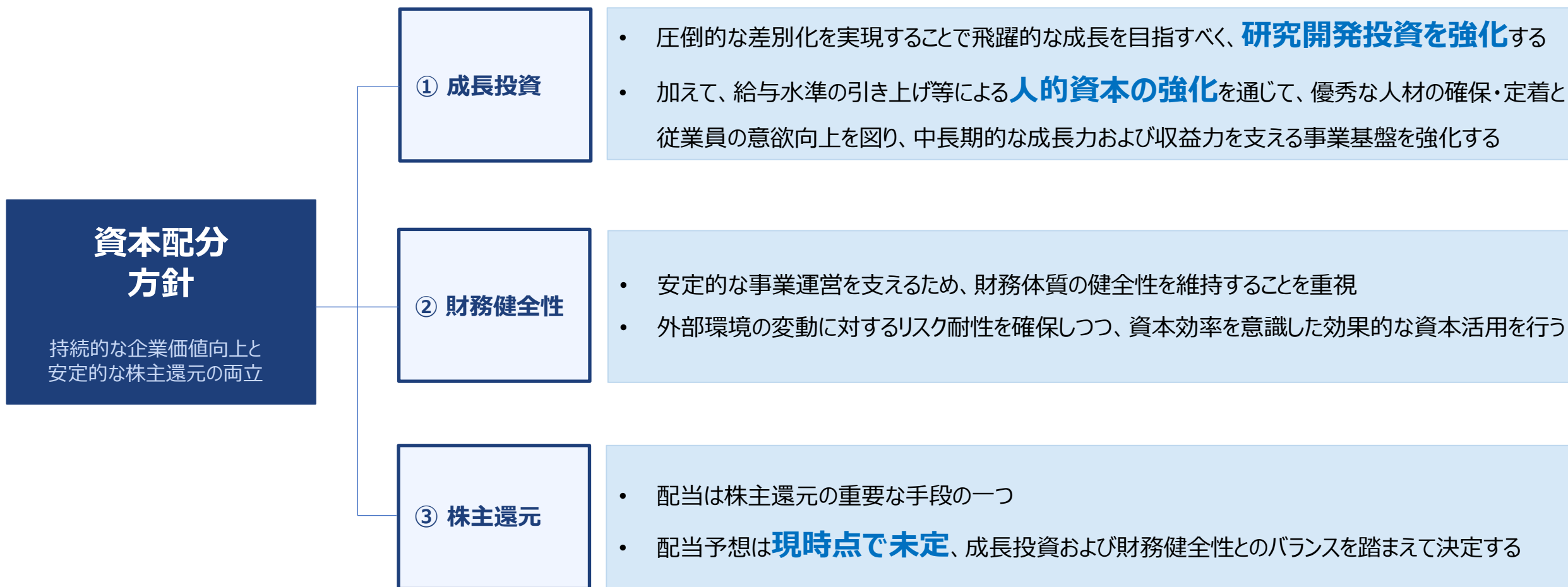
- 愛用者の多い主力商品の効果的なリニューアルの実現を実現し、継続的な商品力向上、競争力強化を図る
- 有名タレントを新たに起用し、新規顧客層の開拓を推進する
- 前期の地上波TV通販への進出に続き、TikTokライブ販売へ新たに進出

27年3月期 業績予想 : 営業利益増減

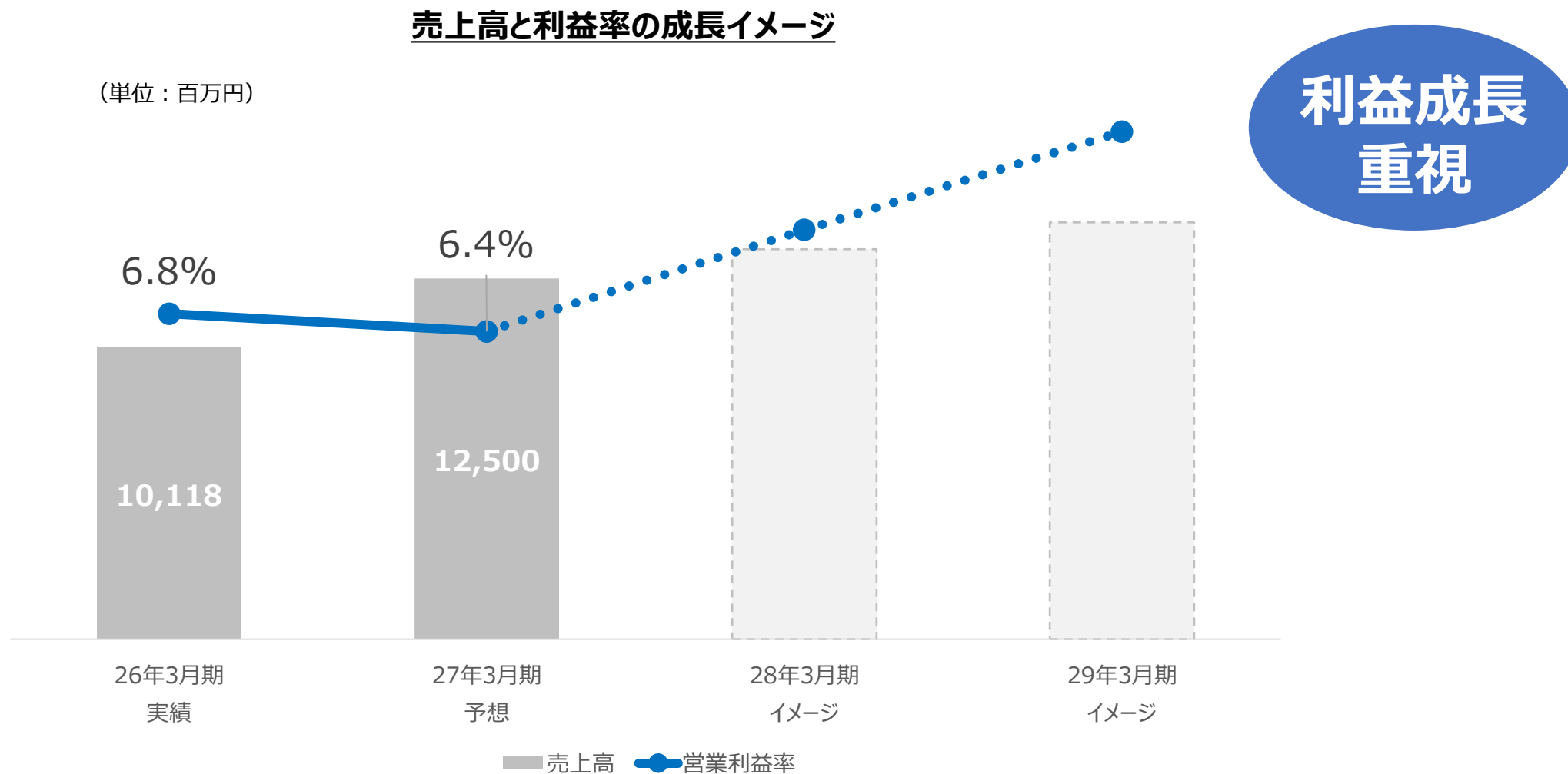
- 事業規模の拡大と成長投資の強化を行い、当期の増益と今後の成長基盤強化をともに実現させる



- 配当は今後の事業環境、業績の進捗、財務状況及び成長投資に係る資金需要等を総合的に勘案し決定する方針
- 配当予想は現時点では**未定**とするが、予想可能となった段階で速やかに公表する予定



- 今後は売上成長よりも**利益成長に重点**をおき、**持続的かつ中長期的な利益成長を目指す**



27年3月期 業績予想

1. 27年3月期の通期業績は、**増収増益**の着地見通し

- いずれの部門も通期で前年実績を上回る見通し
- 配当予想は未定とするが、今後の成長投資等とのバランスを踏まえて予想可能となった時点で公表予定
- 今後は利益成長に重点をおき、持続的かつ中長期的な成長を目指す

1Q業績

2. 1Qはいずれの部門も前年実績を上回り、全体で**増収増益**の着地

- 直販は定期便売上が顧客獲得コストを抑制しながら順調に拡大、外部モール販売も伸長
- 外販は配荷店舗数を大きく拡大し、一般流通事業の成長が継続
- TV通販はQVCの大型番組がいずれも成功し売上予算を超過

1Q業績：業績サマリー

△ALMADO

- 1Qは前年同期比で**増収増益**の着地
- 売上面は、各部門とも前年同期を上回り、特に外販の一般流通事業が大きく増収
- 利益面は、売上増加に伴う売上総利益増加に加え、販促コストを抑制できたことで大きく改善

(単位:百万円)

項目	1Q		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率
売上高	2,516	3,501	985	139.1%
売上総利益	1,863	2,459	595	132.0%
販管費	2,744	2,719	-24	99.1%
営業利益	-880	-260	619	-
当期利益（税後）	-604	-190	414	-
EPS	-65.5	-20.5	45.0	-

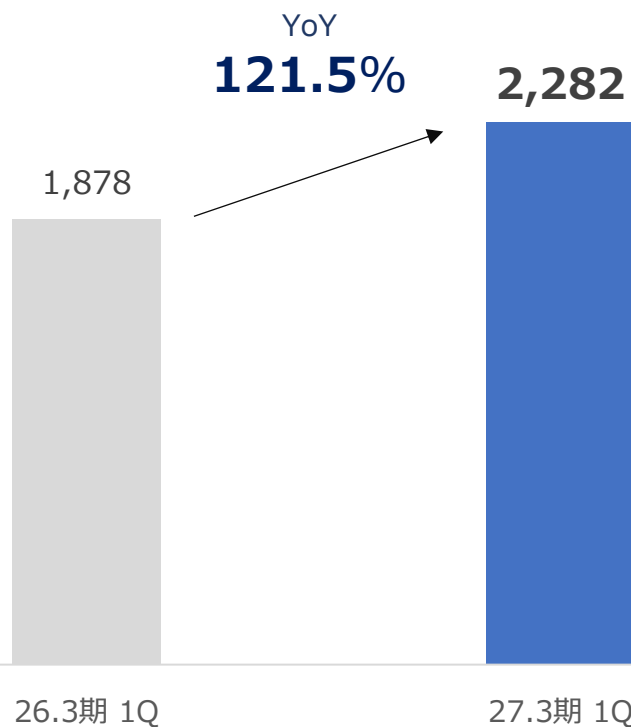
- 売上は**いずれの部門も前年同期を上回り**、全社売上は前年同期比139.1%と大きく増収

項目	1Q		(単位:百万円) 前年同期比 (増減率)
	前期	当期	
全社売上 (a+b+c)	2,516	3,501	139.1%
a. 直販 売上	1,878	2,282	121.5%
b. 外販 売上	401	935	233.4%
c. TV通販 売上	237	284	119.9%

- 直販部門は**定期便売上が好調**、また**外部モール販売も伸長したことで増収**

売上高（直販）

（単位：百万円）



1Qの状況

- 新規獲得数は前年同期比108.6%で過去最高
- 定期会員数は前年同期比105.8%で過去最高
- 外部モール販売*は前年同期比135.3%と伸長
- 顧客基盤拡大を実現しながらCPA*は前年同期比89.8%と抑制に成功
- AIの効果的活用と前期の人員拡充が当期に好影響

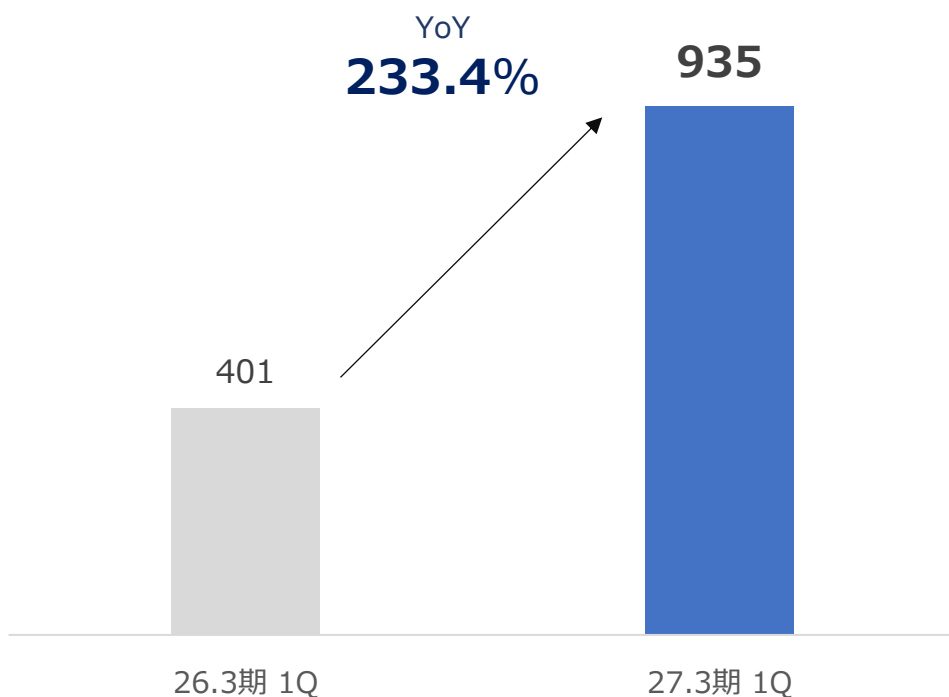
*外部モール販売：Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング等での販売

*CPA：一人当たり顧客獲得費用

- 外販部門は**一般流通事業が大幅に増収**、OEM事業も主要取引先を中心に堅調に推移

売上高（外販）*

（単位：百万円）



* 売上高（外販）：海外の売上高を含む

1Qの状況

【一般流通事業】

- 売上高 564 百万円（前年同期比316.1%）
- 美容、健康商材ともに配荷店舗数が大幅に拡大
- 生協での化粧品販売好調を背景に、生協専売の「チェルラー育毛エッセンス」を上市

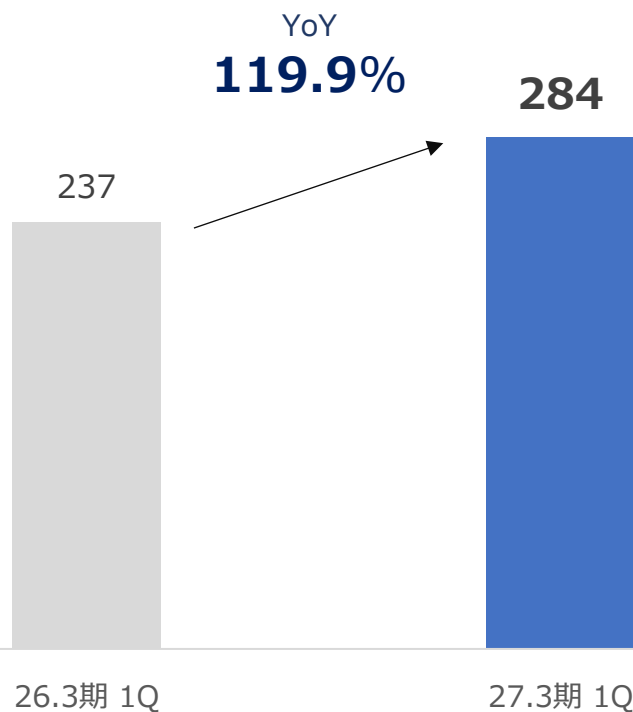
【OEM事業】

- 売上高 370 百万円（前年同期比166.3%）
- 主要OEM先への納品が堅調に推移

- TV通販部門は**QVCの大型番組が成功し増収**、地上波番組でのオンエアも一定の手応えあり

売上高 (TV通販)

(単位：百万円)



1Qの状況

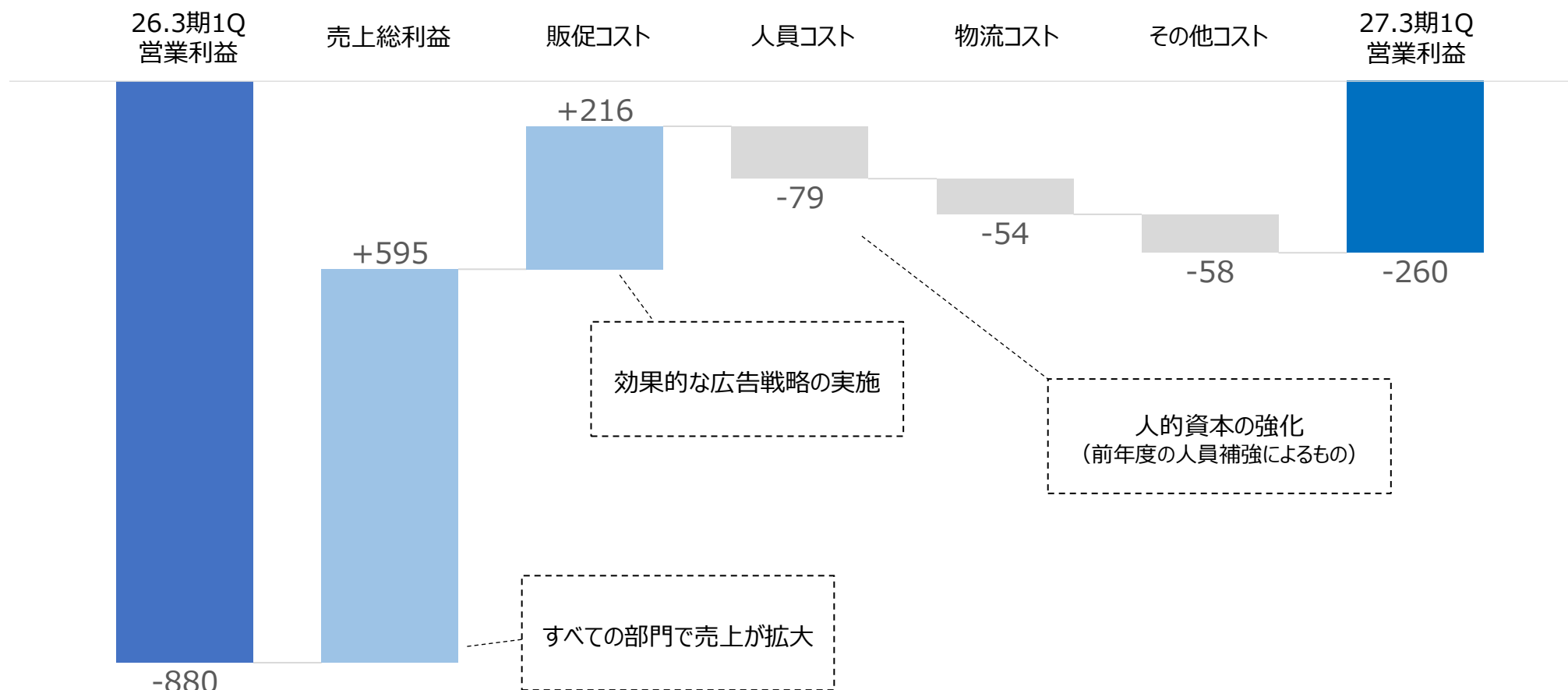
- QVCのOAは大型番組含む直近 8 回連続で予算達成
- 全国ネット地上波TV通販において、美容液マスカラが好成績を達成
- 新タレントのVTR出演が決定 (2Q以降出演予定)
- TikTokライブ販売が決定 (2Q以降配信予定)

1Q業績：営業利益増減

- ・ **売上規模拡大と販促コスト抑制を両立させた**ことで、営業利益が大幅に改善
- ・ 1Q終了時点では営業赤字であるものの、今年度は例年より早期の黒字化を見込む

営業利益増減要因

(単位：百万円)



Appendix

(単位：百万円)

	1Q		前年同期比	
	前期	当期	差異	増減率
売上高	2,516	3,501	985	139%
売上原価	653	1,042	389	160%
売上総利益	1,863	2,459	595	132%
販売費及び一般管理費	2,744	2,719	-24	99%
人件費	204	284	79	139%
販促費	2,059	1,842	-216	89%
物流費	236	290	54	123%
営業利益	-880	-260	619	-
経常利益	-871	-267	604	-
当期純利益	-604	-190	414	-
1株当たり当期純利益（円）	-65.5	-20.5	45.0	-

(単位：百万円)

	2026年3月末	2026年6月末	差異	増減率
流動資産	4,237	5,332	1,094	125.8%
現金及び預金	1,623	1,809	186	111.5%
固定資産	299	379	79	126.5%
総資産	4,537	5,711	1,174	125.9%
負債合計	2,718	4,471	1,753	164.5%
流動負債	2,648	4,398	1,750	166.1%
固定負債	69	72	2	104.2%
純資産（株主資本）	1,818	1,239	-578	68.2%
流動比率	160.0%	121.2%	-38.8pt	-
自己資本比率	40.1%	21.7%	-18.4pt	-

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたものであり、国内外を問わず、いかなる有価証券、金融商品または取引に関する募集、投資の勧誘または売買の推奨を目的としたものではありません。本資料は、金融商品取引法またはその他の法令もしくは諸規則に基づく開示書類ではありません。投資のご検討にあたっては、投資家の皆様ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が本資料作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明または将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。

本資料への掲載にあたっては万全を期しておりますが、その内容の正確性、完全性および確実性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

世界の人々の人生に**健康と美しさ**をもたらす
卵殻膜とバイオテクノロジーで

ALMADO